

ダイヤ工業株式会社 池田 智浩
岡山大学産科婦人科学教室



住所：岡山市南区古新田1125
☎：086-282-0377
✉：ikedai@daiyak.co.jp
URL：https://www.daiyak.co.jp/

キーワード：
妊産婦、腰痛、骨盤ケア

共同研究事例：

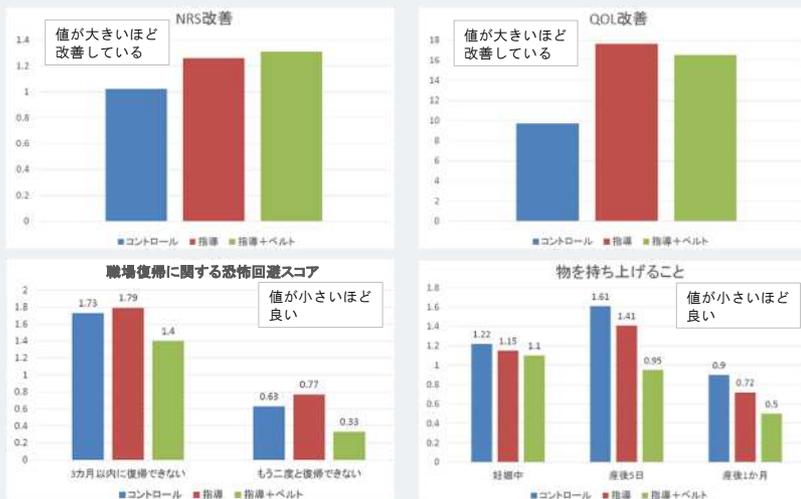
○研究開発品

- Point①：ダブルギア構造で軽い力で必要なだけ締めこめる
- Point②：硬質パーツ不使用で快適
- Point③：快適に使える前面細幅設計



○研究評価結果

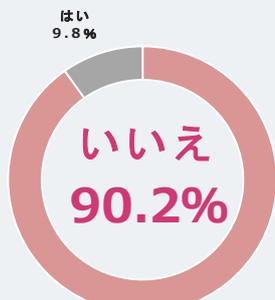
- ・NRS：痛みを数字で評価するための指標
- ・QOL (ODI)：オスヴェストリー能力指数/ADL評価指標



○考察

- ・指導、指導+ベルト群の方がNRS、QOL共に改善は良好であった
- ・物を持ち上げること骨盤ベルトが有用であった
- ・職場復帰意欲に骨盤ベルトが有用であった

○産後ケアの実情



1. 身体症状のケアが充実している産後ケア施設を増やしてほしい。(75.7%)
2. 産後健診時(2週間健診や1か月健診)に母親の身体についての確認やケアをしてほしい。(64.0%)
3. 医療機関や行政機関から、セルフケアについて正しい情報を教えてほしい。(60.9%)

産後ケア事業実施要綱と比べると身体症状のケアサービスが十分に提供できておらず、産後女性へのサポートが不足している状況

共同研究の目的・背景：

産前産後の骨盤痛などの有訴者は多く、骨盤性の疼痛は妊娠中から分泌されるホルモンの作用により仙腸関節や恥骨結合が弛緩し、骨盤輪の可動性が増大することと、妊娠による体重・姿勢変化によって発症するとされています。

本研究では妊娠出産による身体ダメージに対して骨盤ベルトを用いて保護し、女性の過度の不安や身体的負担を軽減することを目指します。

共同研究の成果：

産前産後に骨盤ベルトを使用し適切な運動指導を行うことで、疼痛改善やQOL改善に寄与することがわかりました。特にQOL評価スコアの質問項目のうち、骨盤ベルトが直接的に関係する「物を持ち上げること」に対しては、運動指導のみの評価群よりも大きく改善することがわかりました。

共同研究を振り返って：

現在は研究進行中の段階ですが、当社単独で妊産婦に対するエビデンス検証を行うことは困難を極めるため、岡山大学病院にて臨床研究を実施できる機会を得られたことは大変ありがたかったです。エビデンスを基に製品を完成させ、身体ケアにお困りの妊産婦の方々のお役に立てていきます。

今後について：

2024年度の製品完成を目指し、現在も製品開発と共同研究に取り組んでいます。2025年5月には日本産婦人科学会が岡山で開催される絶好のタイミングなので、参集される医療従事者にしっかり情報をお届けしていきます。

主な事業内容：

- 医療用品メーカー
- 取扱製品：
 - サポーター、コルセット
 - アシストスーツ
 - 医療補助製品
- 主なブランド：
 - bonbone(ボンボン)
 - DARWING(ダーウィン)
 - TPECNOC(トペックノック)
- 取り組みテーマ
 - 子供が50年先も笑顔に
 - 運動器年齢-10歳
 - 日常に溶け込む健康